

# 広島大学

令和6年度 広島大学光り輝き入試

総合型選抜I型

## 解答例又は出題の意図等

教育学部 第二類(科学文化教育系)

技術・情報系コース

科目名: 筆記試験

解答の公表に当たって、一義的な解答が示せない記述式の問題等については、「出題の意図又は複数の若しくは標準的な解答例等」を公表することとしています。

また、記述式の問題以外の問題についても、標準的な解答例として正答の一つを示している場合があります。

令和6年度 広島大学光り輝き入試  
総合型選抜（I型）  
教育学部  
第二類（科学文化教育系） 技術・情報系コース  
筆記試験問題 解答例又は出題の意図等

---

問1の出題意図：ものづくりに対する教育の考え方について、どれだけ適切に言語化できるかを問うための問題である。中学校技術科の教員を養成する本コースで学ぶにあたって、思考力や表現力があるかを見るために、本問題を出題した。

問2の出題意図：身近な機械に対して、普段からどれだけ思考しているかを問うための問題である。中学校技術科の教員を養成する本コースで学ぶにあたって、身の回りの機械における部品や役割について考えているかを問うために、本問題を出題した。

問3の出題意図：AI技術の進展により、人々の働き方など社会や教育内容や進め方までそれらの基本に立ち返って新たに考えることが必要となりつつある。この設問では、このような変革期の教育について、社会の変化に関心を持つと同時にこれからの世界を生きる児童生徒がどのような力をつけるべきか、考えようとしているかを見ることを意図している。さらに、どのような見方・考え方で教育を進めようとしているのか自覚し、自分なりの考えを一定の妥当性のある考えとして表現しているかを見る。以上のために、本問題を出題した。

令和6年度 広島大学光り輝き入試  
 総合型選抜（I型）  
 教育学部  
 第二類（科学文化教育系） 技術・情報系コース  
 筆記試験問題 解答例又は出題の意図等

---

問4の解答例：

(1) 以下のとおりとなる。

	1	2	3	4
1	○	○	○	●
2	○	○	●	○
3	○	●	○	○
4	●	○	○	○

(a)  $i + j = 5$  のときに黒

	1	2	3	4
1	○	●	○	●
2	●	○	●	○
3	○	●	○	●
4	●	○	●	○

(b)  $i + j$  が偶数のときに白

(2) 以下のとおりとなる。

(a) 1回目は(2, 2), 2回目は(3, 1)に止まる。

(b) 1回目は以下のマス目に止まる。

$1 \leq x \leq 3$  のとき (1,  $x+1$ )

$4 \leq x \leq 6$  のとき (2,  $x-3$ )

2回目は以下のマス目に止まる。

$2 \leq x+y \leq 3$  のとき (1,  $x+y+1$ )

$4 \leq x+y \leq 7$  のとき (2,  $x+y-3$ )

$8 \leq x+y \leq 11$  のとき (3,  $x+y-7$ )

$12=x+y$  のとき (4, 1)

令和6年度 広島大学光り輝き入試  
総合型選抜（I型）  
教育学部  
第二類（科学文化教育系） 技術・情報系コース  
筆記試験問題 解答例又は出題の意図等

---

(c) サイコロを2回振ったとき、それらの値の和は以下の表のようになる。

1回目のサイコロの値 \ 2回目のサイコロの値	1	2	3	4	5	6
1	2	3	4	5	6	7
2	3	4	5	6	7	8
3	4	5	6	7	8	9
4	5	6	7	8	9	10
5	6	7	8	9	10	11
6	7	8	9	10	11	12

したがって、合計の和が7になる確率が最も高い。よって、(2,4)のマス目にいる確率が最も高い。また、合計の和が7になる確率は  $1/6$  である。考え方が合っていれば良い。

出題の意図：プログラミングを行う際、表に基づいて考えることや、配列の添え字に応じて場合分けを行うことが必要になる場合がある。入学前までに学んだことに基づいて、入学後にプログラミングを学習するための基礎的な素養を有するかを見るため、本問題を出題した。